



左から滝下美月さん、並川多美子さん



3/9 「還付金詐欺」を未然防止

香川銀行長尾支店の並川多美子さんと滝下美月さんに感謝状が贈呈されました。令和3年2月4日、滝下さんが窓口業務中、顧客から「還付金がある」との相談があり、上司の並川さんから警戒指示を受けていたことで、即座に警察へ通報し、被害を未然に防止することができました。

3/11・12 平賀源内と和三盆の世界

東讃地域がなぜ和三盆の産地となったのかを学ぶ日帰りツアーが開催されました。JR四国が地域と協働し、観光による地域活性化を目指す「四国家のお宝」シリーズの第50弾で、県内外から2日間で32名が参加しました。参加者は、平賀源内の生家や記念館などを見学しました。



3/15 シトラスリボンに想いを込めて

新型コロナウイルスに感染した人等への差別や偏見をなくそうと、さぬき市更生保護女性会が「シトラスリボンプロジェクト」に取り組んでいます。会員は、約1,000個のシトラスリボンを作り、市内の学校や公共施設などに設置する予定です。



3/27 南川自然の家でジュニアリーダーによるデイキャンプ開催

ジュニアリーダーは、地域の子どもたちの遊びや話し合い活動をサポートするほか、困った時には大人と子どもの架け橋になるようなお兄ちゃん・お姉ちゃん的存在です。この日は、市内の小学生から高校生まで12名が、火をおこして焼き板作りに挑戦したり、体を使ったゲームなどをしたりしました。

「多文化」への気づき

男女共同参画推進市民サポーター



自宅での時間を多く過ごすようになった2020年。私は、動画配信サービスの韓流ドラマに夢中になりました。織り姫と彦星のような恋愛物語の中で、男性が女性を守るといったストーリーではなく、互いに支え合うシーンが魅力的に映りました。

そんな私が「多文化共生」に関心を持つようになったのは、ドラマ視聴と同時期に、国際交流事業「外国人と日本文化を楽しもう! (書道編)」で、さぬき市内在住の外国人技能実習生と出会ったことです。

さぬき市には、400人を超える外国人(うち9割がアジア地域の人たち)が暮らしていることを知りました。中には、日本文化や習慣に戸惑いながら生活している人や、日本語が苦手で、必要な情報を十分に得ることができず、日々の暮らしが困難になっている人がいることもわかりました。

行事の中で、「やさしい日本語」(普通の日本語よりも簡単で、外国人にもわかりやすい日本語)を意識しながら、それぞれの生活や母国のことなどを自由に話す時間があり、インドネシアの技能実習生は、ナシゴレンやチェン

ドル(お菓子)など食文化のこと、イスラム教の1日5回の礼拝のことなどを話してくれました。趣味を尋ねると、なんと、私が視聴していた韓流ドラマを見ることで意気投合し、お互いに異文化についての理解を深め、国境を越えた交流の時間を楽しみました。

「多文化共生」と聞くと、難しく思いがちですが、日常生活の中でのいろいろな人との出会いや感動、気づきなどが、自分を変える第一歩になるのではと考えています。

そしてそれが、自分らしくいきいきと生きることにつながるのではないのでしょうか。



【問】人権推進課 ☎(087)894-9088

男女共同参画社会 川柳・俳句作品 「わが家流」 ワンチーム 家事こなしてる! 廣瀬 美恵子さん